

上村 一樹

連絡先

京都産業大学 経済学部
〒603-8047 京都府京都市 北区上賀茂本山
Email:kammrkzk @ gmail.com
ホームページ:<http://kammrkzk.net/>

個人情報

性別：男
生年月日 1980年10月19日

学歴

2015年3月
博士(経済学), 慶應義塾大学
学位論文題目:生活習慣と健康に関する計量経済分析
学位論文審査教員: 山田篤裕(主査), 赤林英夫, 駒村康平(指導教授)

2010年3月
修士(経済学), 慶應義塾大学
学位論文題目:健康状態が労働時間に与える影響

研究分野

医療経済学, 社会保障, 労働経済学

所属学会

日本経済学会, 医療経済学会, 生活経済学会, 社会政策学会, 経済政策学会

賞罰

2015年6月 生活経済学会奨励賞

論文

査読付き論文

1. 若年者における健康状態が労働時間に与える影響,『生活経済学研究』,36巻,pp.79-90,2012年
2. たばこへの依存度と喫煙量の価格弾力性の関係についての分析,『生活経済学研究』,39巻,pp.55-67,2014年

書籍に掲載された論文

1. 野田顕彦・上村一樹,「家計の借入行動と景気変動」,『日本の家計行動のダイナミズム 経済危機後の家計行動の変容』,pp.165-179,2010年
2. 上村一樹・野田顕彦,「喫煙習慣のパネル分析——合理的依存症モデルの検証」,『日本の家計行動のダイナミズム 経済危機後の家計行動』,pp.57-74,2011年
3. 石野卓也,萩原里紗,深堀遼太郎,曹成虎,上村一樹,野田顕彦,小林淑恵,「家計行動にみる経済危機の痕跡——KHPS2010年調査から」,『日本の家計行動のダイナミズム 経済危機後の家計行動』,pp.11-46,2011年

その他論文

1. 上村一樹・駒村康平,「相対所得の変化が一般的信頼度に与える影響について」,『三田学会雑誌』,第106巻,4号,pp.79-99,2014年
2. 「後発医薬品に関する選好の決定要因——後発医薬品の認知・処方経験・支払い許容額について——」,『経済論集』,第40巻,2号,pp.227-240,2015年
3. 児玉俊介・上村一樹・佐藤崇・澤口隆・巽康昭「経済学基礎教育における学修支援としてのeラーニング利用と教育効果」『大学教育と情報』,2015年度1号,pp.26-29,2015年

ディスカッション・ペーパー

1. 「肥満と家計行動の再検討」 JOINT RESEARCH CENTER FOR PANEL STUDIES DISCUSSION PAPER SERIES, DP2009-009, 2010.3
 2. 「Addictive Behavior of Japanese Husbands and Wives」 KEIO/KYOTO GLOBAL COE DISCUSSION PAPER SERIES, DP2010-016, 2011.3
 3. 「Effectiveness of cigarette tax in Japan」 KEIO/KYOTO GLOBAL COE DISCUSSION PAPER SERIES, DP2011-035, 2012.3
 4. 「Relationship between Out of Pocket Pay and Expenditure on Marketed Drug」 JOINT RESEARCH CENTER FOR PANEL STUDIES DISCUSSION PAPER SERIES, DP2012-001, 2012.8
-

研究報告

学会

1. 上村一樹・野田顕彦, 「Addictive Behavior of Japanese Husbands and Wives」, 『日本経済学会 2011 年度春季大会』, 熊本学園大学, 2011 年 5 月
2. 上村一樹, 「Effectiveness of Cigarette Tax in Japan」, 『日本経済学会 2012 年度春季大会』, 北海道大学, 2012 年 6 月
3. 上村一樹, 「たばこ税の引き上げがニコチンやタールの摂取量に与える影響について」, 『生活経済学会 2012 年関東部会』, 日本女子大学, 2012 年 12 月
4. 上村一樹, 「たばこへの依存度と喫煙量の価格弾力性の関係についての分析」, 『日本経済学会 2013 年度秋季大会』, 神奈川大学, 2013 年 9 月
5. 上村一樹・駒村康平, 「相対所得の変化が一般的信頼度に与える影響について」, 『生活経済学会 2013 年関東部会』, 東洋大学, 2013 年 11 月
6. 久野譜也・駒村康平・上村一樹, 「健康ポイント制度のコンジョイント分析」, 『日本経済学会 2015 年春季大会』, 新潟大学, 2015 年 5 月
7. 上村一樹, 「がん検診無料クーポンの受診率向上効果」, 『日本経済政策学会第 72 回全国大会』, 国士舘大学, 2015 年 5 月
8. 上村一樹, 「自己負担額無料化が市町村国保の特定健診受診率にもたらす影響」, 『医療経済学会第 10 回研究大会』, 京都大学, 2015 年 9 月
9. 上村一樹・駒村康平, 「労働者の健康増進が労働生産性に与える影響—パネルデータによる分析—」, 『社会政策学会 第 131 回 (2015 年秋季) 大会』, 西南学院大学, 2015 年 11 月
10. 上村一樹・駒村康平・久野譜也, 「健康無関心層の実証分析—「健康ポイント制度」への参加意向から—」, 『生活経済学会 2015 年関東部会』, 中央大学, 2015 年 11 月

招待講演・セミナー等

1. 久野譜也・駒村康平・上村一樹, 「健康ポイント制度のコンジョイント分析」, 『和歌山大学理論・計量経済学セミナー』, 和歌山大学, 2014 年 12 月
 2. 上村一樹・児玉俊介・澤口隆, 「経済学基礎教育における e ラーニングの学力差改善効果」, 『第 21 回大学教育研究フォーラム』, 京都大学, 2015 年 3 月
 3. 上村一樹・駒村康平・久野譜也, 「健康ポイント制度のコンジョイント分析」, 『慶應義塾大学 経済研究所 応用経済学ワークショップ』, 慶應義塾大学, 2015 年 10 月
 4. 上村一樹・駒村康平・久野譜也, 「健康ポイント制度のコンジョイント分析」, 『大阪大学医療経済・経営学寄附講座 東京研究会 第 5 回』, 大阪大学東京オフィス, 2015 年 10 月
-

職歴

教職

2013年4月～東洋大学 経済学部 助教

2016年4月～京都産業大学 経済学部 助教

非常勤講師

2011年4月～2013年3月 神奈川大学経済学部（経済情報処理 I/II）

2012年4月～2013年3月 東洋大学経済学部（経済学入門演習 A・B）

2015年4月～2016年3月 日本大学経済学部（（専門研究（一））

リサーチアシスタント

2008年10月～2010年3月 慶應義塾大学先導研究センター（パネル調査共同研究拠点）

2010年6月～2011年3月 慶應義塾大学先導研究センター（GCOE）

その他

2011年4月～2013年3月 慶應義塾大学経済学部奨励研究員

教育経験

担当講義

2011年～2012年 経済情報処理 I・II(神奈川大学経済学部)

2012年～経済学入門演習 A・B(東洋大学経済学部)

2012年 経済学 B(東洋大学経済学部) ※ 12月以降4回の講義および期末試験を代講

2012年 経済統計 B(東洋大学経済学部) ※ 12月以降4回の講義および期末試験を代講

2013年～経済学入門 A・B(東洋大学経済学部)

2013年～マクロ経済論演習 (東洋大学経済学部)

2013年～ミクロ経済論演習 (東洋大学経済学部)

2015年 専門研究（一）(日本大学経済学部)

2016年～3セメ基礎セミナー (京都産業大学経済学部)

2016年～演習 I(京都産業大学経済学部)

2016年～入門セミナー A・B(京都産業大学経済学部)

2016年～ワーク・ライフ・バランス入門 (京都産業大学経済学部)

2016年～日本経済リレー講義 (京都産業大学経済学部)

2016年～福祉の経済学 (京都産業大学経済学部)

2016年～経済データ処理実習 (京都産業大学経済学部)

ティーチングアシスタント

2010年 慶應義塾大学経済学部, 計量経済学概論/統計学 b(秋山裕准教授)

2011年 慶應義塾大学経済学部, 計量経済学概論/統計学 a(秋山裕准教授)

2011年 慶應義塾大学経済学部, 計量経済学概論/統計学 b(秋山裕准教授)

2011年 慶應義塾大学経済学部, 社会政策論 a(山田篤裕准教授, 当時)

2011年 慶應義塾大学経済学部, 社会政策論 b(駒村康平教授)

2012年 慶應義塾大学経済学部, 計量経済学概論/統計学 a(秋山裕准教授)

2012年 慶應義塾大学経済学部, 計量経済学概論/統計学 b(秋山裕准教授)

2012年 慶應義塾大学経済学部, 社会政策論 a(山田篤裕教授)

2012年 慶應義塾大学経済学部, 社会政策論 b(駒村康平教授)

2012年 慶應義塾大学経済学部, 社会福祉論 (駒村康平教授)